



ぼうさい まもる
防災 守くん

ふれあい119

安心して暮らせるために



高齢者宅訪問防火指導



消火器使用方法を指導

平成15年春季全国火災予防運動

【3月1日(土)～3月7日(金)】

『消す心 置いてください 火のそばに』

主な行事

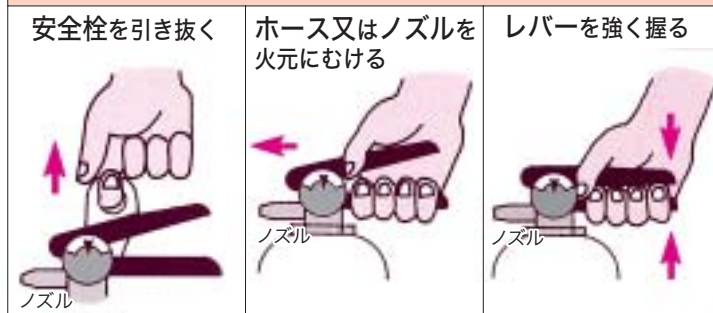
- * 火災予防運動恒例の『裸マラソン』
3月1日(土) 午前10時30分北上消防署出発、
本通り～諏訪町～大通りのコースを走り防火
を呼びかけます。(沿道でのご声援をお願い
します。)
- * 寝たきりの老人が居る家庭を訪問し、防火指
導をおこないます。

その時、貴方は消火器を使えますか？



毎年火災により、全国で多くの尊い命が奪われ、貴重な財産が消失しています。どんな火災でも最初は小さな火です、そんな時有効なのが「消火器」です。自分の家に消火器などの防火の備えをするのはもちろんのこと、消火訓練が催される時は、隣近所を誘い合わせて進んで参加しましょう。消火器の使い方なども、実物を使って覚えておけば、いざという時に消火器を落ち着いて操作することができます。

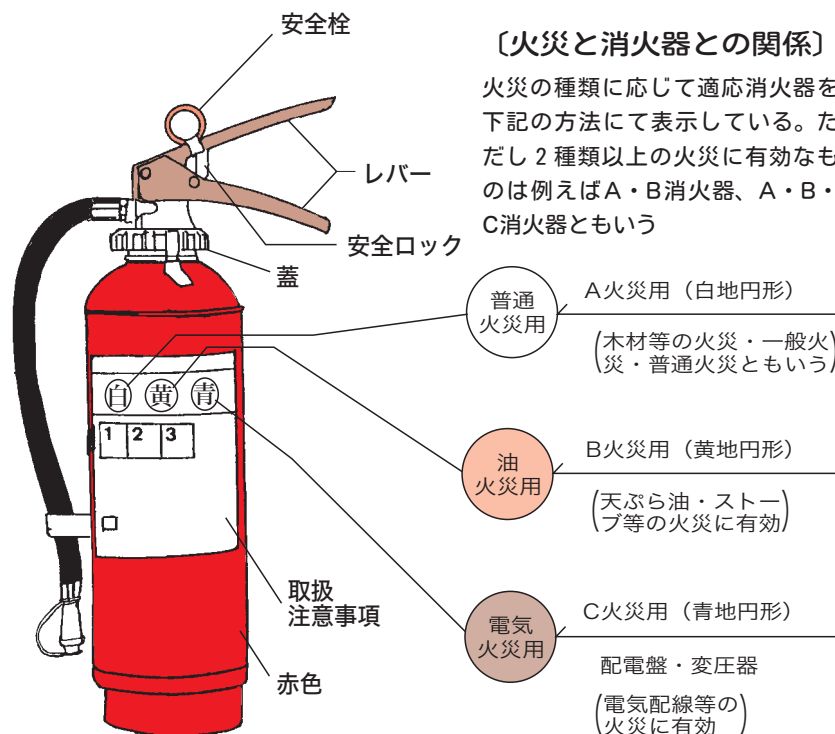
操作はかんたん(住宅用:ゲージ付)



防災訓練実施中



火災の種類により、消火器も適材適所



火災の種類	
普通火災 (A火災)	<p>●木材、紙、繊維などが燃える火災</p>
油火災 (B火災)	<p>●石油類その他の油類などが燃える火災</p>
電気火災 (C火災)	<p>●電気設備などの火災</p>

《お知らせ》

- 消防署では、消火器の販売や、古くなった消火器の回収、廃棄処分は行っていません。
- 消火器の購入 (訪問販売に注意) や、廃棄処分は専門の業者へ依頼してください。
- 詳しくは、65-5173北上消防本部予防課までお問い合わせください。

消防はしご車で 火災予防をPR

平成14年10月26日（土）、西和賀地区の農家の人達が一同に会し、消費者との交流と、実りの秋を喜び合う西和賀農業まつりに、西和賀消防署も参加しました。

今回で20回目の開催となる記念の年に、35歳級の消防はしご車を展示し、火災予防を呼び掛けました。

はしご車には、子どもから大人まで大勢の方が体験搭乗し、更に、はしご車を利用しての餅まきには、周りに大きな人垣ができるほどの大盛況でした。

また、事故車両からの救助救出訓練、心肺蘇生法の実技指導、防災用品の展示等の各コーナーは、秋晴れのもと多くの来場者で賑わいを見せ、防災に対する関心と消防を理解していただきました。



消防ポンプ操作の 正確さ・速さを競う

平成14年7月30日（火）第33回岩手県消防操法競技会が、岩手県消防学校を会場に開催されました。

北上地区を代表し、自動車ポンプの部で、県大会に挑んだ沢内村消防団第2分団第2部が、県内の強豪を相手に17チーム中第4位と大健闘しました。

また、小型ポンプの部で出場した湯田町消防団第3分団は、健闘及ばず惜しくも入賞を逃しました。

今後とも、地域住民の安全のために防災活動に御活躍をお願いします。
住民の皆様のご更なる御支援、御協力をお願いします。



35年ぶり復活のSL 給水に消防車も一仕事

平成14年9月14・15日の両日に、JR北上線を35年ぶりに蒸気機関車デゴイチ（D51）『錦秋湖号』が、黒い煙を上げ沿線のSLファンを魅了しながら、威風堂々と北上横手間（往復）を快走しました。

蒸気機関車はその名前からもわかるように、蒸気を動力源として走る車両です。その為、大量の水（D51は20トの水を積載）を必要とします。

今回の水の補給基地は、ほつとゆだ駅ということから、西和賀消防署が水の補給に協力しました。

給水は、消防ポンプ自動車で約6トの水を1日に2回、試運転を含めて7日間協力しました。

沿線地域の住民は、勇壮な姿に感激、次回の走行に期待を寄せておりました。



9月1日は防災の日

平成15年度岩手県総合 防災訓練北上市で開催

国民一人一人が台風、高潮、津波、地震など災害について認識を深め、これに対処する心構えを準備しようという主旨のもと、毎年9月1日を『防災の日』とすることが昭和35年に制定されています。これにともない岩手県でも総合防災訓練を行っており、平成15年度は北上市を会場に実施されます。日頃からの防災意識を更に高揚させる意味でも多くの住民の参加をお願いします。

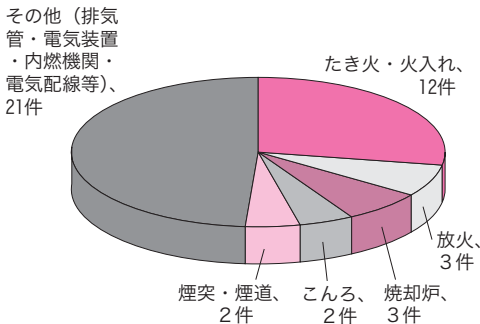


平成14年9月の盛岡市での訓練風景

平成14年中の火災件数

平成14年度中に北上地区消防組合管内（北上市、湯田町、沢内村）で発生した火災は43件で、前年（47件）に比べ4件減少しました。

出火原因別火災件数



焼損棟数は28棟、建物焼損面積は、1千379平方メートルで、火災損害額は1億2234万7千円となっています。火災種別では、建物火災が20件、その他火災（空地・休耕田等の枯れ草）が12件、車両火災が9件、林野火災が2件となっています。

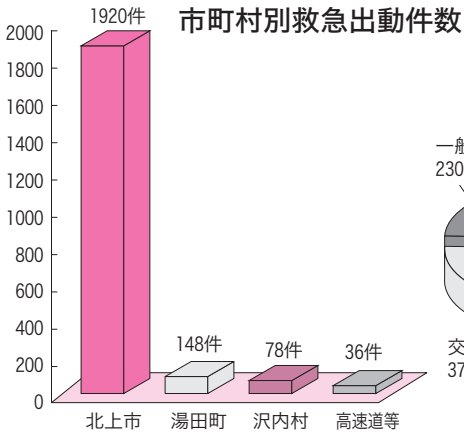
出火原因は、たき火・火入れ・放火・焼却炉・その他となっており、火災による死者は6人で前年（4人）に比べ2人増加しました。

平成14年中の 救急出動件数

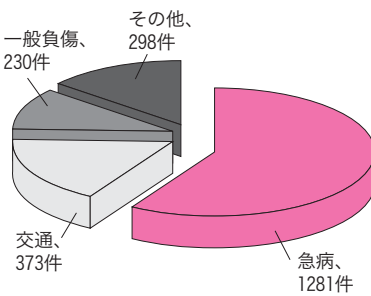
平成14年中に救急車が出動した件数は、2,182件で、一日平均約6回出動しています。また、救急車で病院に搬送された人は、2,152人で、管内の26人に一人が利用したことになります。

市町村別の出動した件数は、北上市1,920件、湯田町148件、沢内村78件、高速道等36件となっています。

市町村別救急出動件数



救急出動件数



その時に備える救助隊

北上消防署では平成3年に救助工作車が配備になり救助隊（レスキュー）ができました。今回は救助工作車と隊員の服装を紹介いたします。



〈救助工作車〉
左右のボックス内は資器材収納部分、フロント部分にウインチ、後部にクレーン、車両上部には照明装置が装備されている。



① オレンジの服は救助隊服で右腕にキャラクターマーク（防災守くん）のワッペン
② 火災現場では防火服と呼吸器約20kgを着装し活動